

広島・長崎を訪問して

大館高校 2年

多賀谷 円さん



戦争のない時代に生まれた私にとつての今回訪問で、戦争の真の恐ろしさが身に染みました。原爆資料館で見た巨大なきのこ雲や痛々しい被爆者の写真は、図書館で見る資料写真とは全く違う迫力



と不気味なほど生々しい現実がそこに満ちているようでした。被爆

者が受けた原爆の重みはとても重く、体にも心にも一生消えることのない傷を残している。そんな姿を見つめていると胸が痛み、原爆の威力を思い知らされました。平和公園、原爆落下中心跡などといった所へ市民平和大使として折り鶴を捧げた時、その持ちきれない程の折り鶴の一つ一つには、平和へのそれぞれの思いが詰まっています、それは平和を願う人々の心だと実感しました。

そしていよいよ平和祈念式典に参列し、私はあれほど重苦しく異様な空気を味わったのは初めてでした。特に戦後五十二年となった

今でも、会場は深い悲しみに包まれ、人が群がる様子は印象に残りました。一分間の黙とうで平和の鐘が鳴り響くと共に私は、戦争で亡くなられた方々の冥福を心から祈りました。原爆で一瞬のうちに無残な姿となった原爆ドームには心を打たれてしまい、原爆ドームは世界遺産としてこれから先も現代にとどまる建築物だと確信しました。

私達は常に戦争あるいは核兵器の恐ろしさをよく認識し、その存在を否定する他はないし、核兵器は、人類さらには地球を破滅さ

せる最大の凶器ではないでしょう。そんな凶器を一刻も早くなくし、それは原爆死没者の為にも、私達の未来の為にも、より一層考えていかなければならない。

広島・長崎を訪問し、あらためて核兵器の恐ろしさと命の尊さを教えられ、戦争を知らない世代達へ語り継がねばならないことだと思いました。また、広島・長崎の人々が受けた大きな苦しみを少しでも理解することができたこの貴重な体験を生かし、これからもいろいろな面で学んでいきたいと思っています。

平和祈念作文入賞者

小学生の部

最優秀賞

平塚 いづみ

長木小 5年

優秀賞

遠山 伸

長木小 6年

本間 愛果

成章小 6年

島山 芳耶

成章小 6年

島山 桃子

長木小 4年

藤盛 由果

城南小 3年

泉館 友希

城南小 3年

船木 純

城南小 3年

石垣 美里

長木小 2年

石田 彩花

長木小 2年

中学生の部

最優秀賞

藤嶋 真理恵

二中 2年

優秀賞

碓谷 恵美

東中 3年

高校・大学・一般の部

最優秀賞

多賀谷 円

大館高 2年

高嶋 敏郎

東台4区

佐々木 真由美

大館高 2年

仲澤 美穂子

大館高 2年

渡邊 まり

大館高 2年

山本 千春

大館高 2年

川田 貴之

東中 3年

佐々木 公兵

二中 3年

藤垣 千里

二中 3年

三浦 育美

二中 2年

工藤 友香子

下川沿中 2年

渡邊 麻衣子

東中 1年

富樫 勇太

南中 1年

平泉 雄大

南中 1年

鳴海 誠

一中 1年

島内 佑子

一中 1年